

ふるさと奥尻通信

平成27年1月30日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭言

地域を変えるのは、若者・よそ者・バカ者だと言われます。では、年寄り・地元・一般人では無理なのか。そんなことはないでしょう。皆が手を取り合って、叡智を集めていけば良いはず。

特集 太田広城 一二つの海峡を越えた男 第1回

奥尻島第3代戸長(明治18年～同23年)を務めた人物に太田広城(おおたひろき)がいます。この男、生涯の前半は八戸藩士として幕末の動乱を乗り切り、後半は北海道へ渡って、奥尻島に至り、戸長として先進的な政策を用いて開拓期の奥尻を支えました。彼の生涯を二号にわたって紹介します。今号では北海道に渡るまでの足跡をたどります。

太田は天保9年(1838)、三戸郡角柄折村(現 青森県階上町)に生まれ、次男ながら家督を継ぎ、八戸藩主9代信順(のぶゆき)に仕えました。その後、物品管理等を行う納戸役を経て、屋敷固砲術士として足軽への鉄砲の訓練指導にあたりました。以降は、藩士を監察する役目である目付に抜擢されるなど、有能な藩士として出世していきました。

しかし、時はちょうど幕末の動乱の時期であり、慶応4年(1868)に戊辰戦争が勃発します。太田は、久保田藩(秋田)や仙台藩などに出向き、盛んに情報収集と調整に努めました。しかし、新政府軍は会津藩を朝敵として討伐に出たため、最終的に東北の諸藩は同盟を結んで対峙することとなります。



奥尻と八戸、五戸、階上の位置関係図 オープンストリートマップより

八戸藩の本藩である盛岡藩は、同盟派について秋田や七戸・野辺地などに出兵しましたが、支藩の八戸藩は決定的な軍事行動には出ずに静観する態度をとりながら、微妙な舵取りで乗り切っていました。これには、太田の機智によって、八戸藩主信順が薩摩藩島津家の五男からの養子であったことによる官軍内通疑惑の嫌疑を解いたり、肥前の鍋島藩難破船による乗員上陸と藩内通過を黙認したりして、城下を戦乱から守ったことなどが大きかったと言えます。9月の盛岡藩降伏後も、戦後処理に奔走し、処分を有利に導いたとされます。

戦後、東京在勤のうちに八戸藩大参事となり、明治4年(1871)には、黒石、斗南、七戸、八戸、館(旧松前藩)の各県を合併させて弘前県(後に青森県)を誕生させました。

またこの頃、太田は斗南の広沢安任とともに谷地頭(三沢市)で日本初とされる洋式牧場の開発に取り組み、資金面や人材面での調整にあたりました。米作に適さない土地での、地域振興策として考えたものでしたが、これは後年に奥尻へ渡ってから試みられることとなります。その後、初代五戸支庁長や青森県典事、少参事、大属などの要職を務めました。明治8年(1875)に県政への意見衝突から辞任してしまい、広沢とも袂を分かたつこととなりました。

官職を辞した後の太田の行動は、少々謎めいています。東京へ出て、第六十銀行の社員となり、さらに、当時の警視庁大警視(現 警視総監)であった川路利良の秘密探偵も兼務したとされます。そして、明治12年(1879)年の川路の急死後、いよいよ北海道に渡って来るのです。明治13年の事でした。



太田広城東京在勤時代 明治2年『階上町史』所収

☆太田広城年表その①☆

1838年	三戸郡角柄折村に生まれる
1861年	太田家家督相続
1861年	八戸藩納戸役(物品管理等)
1862年	屋敷固砲術士(鉄砲訓練指導)
1866年	目付兼勝手方取締物産係
1868年	中老格として久保田藩(秋田)派遣 京都在勤 奥羽鎮守総督九条道孝に随行 戊辰戦争の戦後処理に奔走
1869年	集議員議員(東京在勤)
	八戸県権大参事
1870年	八戸県大参事、宣教師
1871年	青森県九等出仕
1872年	五戸支庁長、三戸郡支庁長 青森県典事 勸業寮御用兼務 青森県少参事心得
1875年	青森県大属 依願退職
1878年	第六十銀行社員(東京) 川路大警視の秘密探偵兼務
1880年	北海道福山(松前)へ渡る
1885年	奥尻郡釣懸外三村戸長(第3代)
1890年	戸長退任
1902年	八戸へ帰郷
1903年	八戸俳諧倶楽部会長
1911年	死去 墓地:大慈寺(八戸市長者1丁目)

一部、「略系譜」と異なるが自筆「履歴書」を優先した。

奥尻写真語 第1回 明治の鍋釣岩と道路



新連載スタートです。奥尻写真語(がたり)と題して、昔の写真から、いろいろな物事を語ってもらおう(読み取っていく)という企画です。来年は町制施行50周年ですので、記念の古写真集でも作ってみたいものです。さて、初回は奥尻のシンボルである鍋釣岩(なべつるいわ)です。一言で言えば奇岩。しかもかなり面白い形、まさに奇跡的な自然の造形です。奥尻町指定文化財となっています。左の画像に注目しますと、これは明治時代末頃の鍋釣岩で、右側に道路が伸びています。今でこそ片側1車線で歩道が完備された道路になっていますが、このころは人馬が通るのがやっとのくらいです。このころは海路が主な輸送路でしたので、島の集落間でも船での往き来が盛んでした。右の画像は昭和30年代のもの。雨降りなので番傘で相合い傘しているお二人さんが、これがコウモリ傘だとまったく風情がないのですが、古風な番傘なので趣があるという訳。

学芸員の本棚 1冊目



美坊主図鑑
イケメンから癒し系、ワリメー系まで
東西僧侶総勢40人

学芸員オスマの一冊をご紹介します。本は海洋研修センター図書室で借りられます。

人生に疲れてもあなたにはこのお坊さんがいる!!

「美坊主図鑑」 日本美坊主愛好会

お坊さんの世界ってどんな?と聞かれても、なかなか説明できませんよね。そもそもどのような生活なのか想像つかないし、若い世代の人ですと、日常ではあまり接点がないでしょう。そんな疑問を持った貴方(特に貴女)! ちょっとのぞいてごらん下さい。そこにはイケメン坊主からインテリ坊主、ロック坊主まで様々なお坊さんがいらっやいます。知れざる仏門の世界へどうぞ。

月刊 奥尻のつり 1月号

年が明け、海岸や港も雪が積もっております。そのため、エサつりの釣り客はめっきり減りましたが、ヤリイカやサクラマスねらいのアングラーにはそれなりに動きが見られます。サクラマスの方は、昨年ほど漁が聞かれず、浜からも数が釣れたという話が聞こえてきません。また、今月中旬頃、奥尻港ではホッケが1週間ばかり釣れていました。多い人で数時間で6~8匹くらい上がっていました。サイズは40cm前後と方揃いでしたが、身の痩せたロウソクホッケでした。あまり脂がのっていないので、単に開きにして焼くよりも、すり身にして団子にするのが美味しい食べ方ようです。ホッケと言えば、奥尻名物の「ホッケのかまぶく」です。すり身を揚げたかまぼこのことで、ほんのり甘みのある素朴な味で、麺類にのせても美味美味。

続・昭和奥尻生活詩 1回

昭和10年 奥尻郡釣石尋常高等小学校一年生「鳥賊つけ」

散	チ	コ	す	背	ほ	ヌ	熊	枯	枯	似	何	雑
つ	ョ	ク	背	中	つ	ツ	笹	曲	葉	た	処	木
た	ロ	レ	違	一	か	!	を	芒	の	様	迄	林
葉	チ	の	ふ	ば	ぶ	と	踏	ゆ	つ	沢	な	
を	ョ	臭	時	い	り	出	み	れ	て	山	雑	
横	ロ	ひ	薪	の	列	別	け	て	あ	く	も	
に	と	が	を	男	来	た		た		つ	だ	
小	水	が	背	負	つ	て		た		て	あ	原
鳥	の	音	が	す	る			た		る	道	行
が	飛	ん	だ							を		夫

ずとでスマ報務キがすもラ
。シ、キすの局した。どスー
バそい。画と場いーン気月
しろ大二面し管話般ど温一
がそ会月にて理な家がな
ほろが八一は者の庭融続
しまあ日喜、でででけき
いとりに一毎あすはて、も
とままは憂日るが大し降日
こつす恒し天教、変まつ中
ろたの例て気委スあいたは
で雪のい予事りま雪ブ

今冬は少雪です...



寄贈された本の一部

待書す珍で五なや約し〇研
ち室るしも〇ドスポ一冊修町
しま価い、冊のポ〇。ほセン
てで値企釣ほ文!〇ーどの在
おお画りど庫ツ冊週の日タ
り越りの文あ本関、刊本!の
ましでも学り、係有世が図方
す下すののま一、名界寄書よ
。さ。で集す般時外遺贈室り
いぜ、成。書代国産さに、
。ひ一本なが小作れれ一海
お図読はか約説家がま五洋

本が寄贈されました

ごあス載なこ他てと外間戦
要りタをりと者い聞でを後年
望ますルタせ、のす苦困わ〇明
をもしん改対し・たの年けま
遠若ト今で々言ロま節した
慮干せ号自あ暮が紛とす、今
無手せか覚る暮とらあ争、年
ごしまらせとねいしふな国。年
意した。連ぼうはれど内世は

新茶之記録(編集後記)

開一てなに慣目す進後はりマ
始日いが、れが。めは実まラ第
でかきら前た肝何て各行しソ二
す。らた、回と心事い部委員。ま
。いよの思ともく会員一で奥
よもり反つ言、こに会一尻ム
いの良省てわ二と別が月残一
よいで点油れ年になれ開十半
受す大を断ま目なてか十半
け。会改せす、り準れば三年ラ
付四に善ずが二ま備、日をイ
け月しし、回を今に切ト

マラソンカウントダウン5



奥尻限定配布 ゆるキャラカード